

第4回子育て世帯への住宅施策検討会 概要

日 時：令和6年1月25日（木）13:00～14:00

場 所：兵庫県庁3号館6階第1委員会室

出席者：別紙のとおり

議 事：検討の取りまとめ

主な意見

- ・若者は行政の施策への関心が低いため、事業の実施に当たっては、対象となる子育て世帯に情報が届くよう、兵庫県宅地建物取引業協会などと連携し、民間事業者を有効活用するなど、周知方法を工夫するべきである。
- ・今回は子育て世帯の定住・転入を図る施策を検討してきたが、将来、子育て世帯が高齢になっても、住み慣れた地域に住み続けてもらうという視点も持つべきである。
- ・子育て世帯は、どんな住宅に住みたいのかというイメージは持っていても、どのような住宅地に住みたいのかという明確なイメージを持っていないと考えられるため、住環境に関する情報を積極的に示す必要がある。
- ・施策を活用した方々の施策に対する評価や、施策により移住された方が考える要望等について、追跡調査により把握することは重要。そうすることで、これからの住宅行政で重視すべき点が明確になる。
- ・子育て世帯は築年数や駅からの距離を重視することが多いが、ニーズに合う住宅は少ないため、多少古かったり駅から遠くとも、県営住宅の空き住戸も有効活用していくべきである。
- ・子育て世帯は時間が無い方が多くコミュニティへの参加が難しい面もあるが、社会貢献の意識が高い世代でもあるため、うまくプロモートすることで、子育て世帯同士が相談したり、助け合ったりできるコミュニティの形成に繋がればよい。
- ・本答申案をもって住宅審議会に諮ることとする。